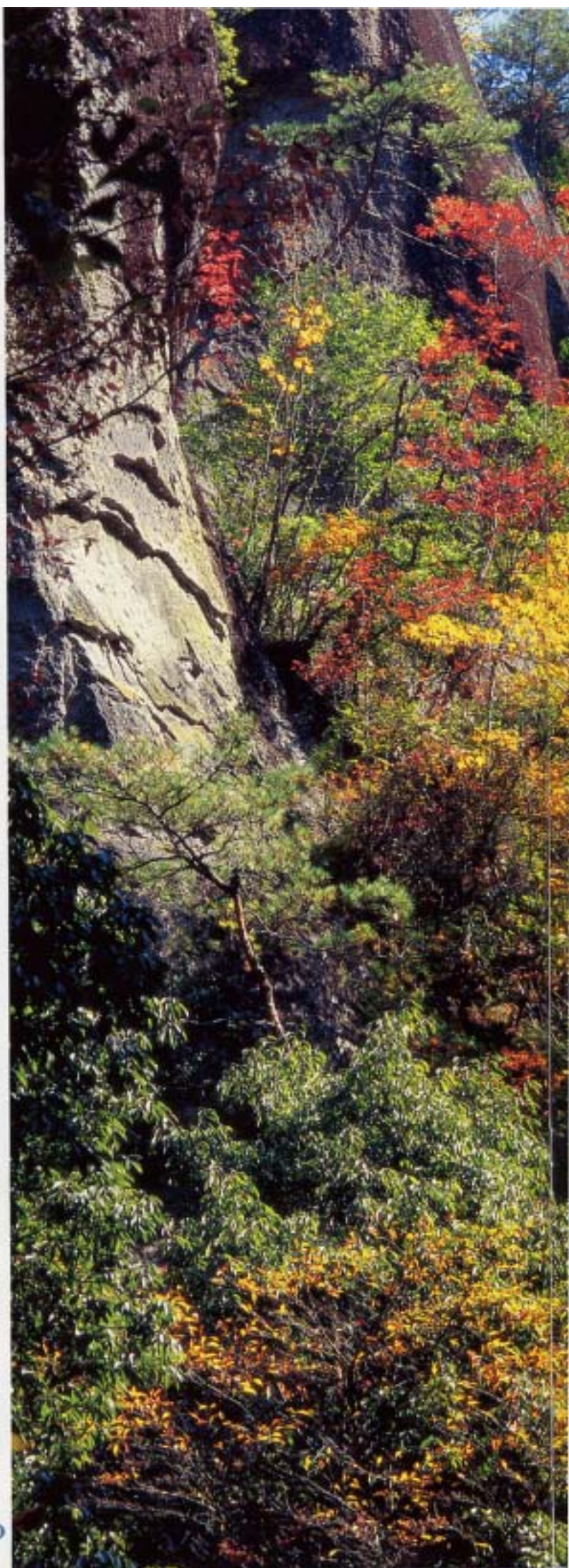


深耶馬溪地域の 自然について考える

みんなで自然環境の 保全について考えてみよう

深耶馬溪地域は新緑や紅葉の季節には多くの観光客でにぎわいます。優れた自然環境の中に身を置くことで、その時々に変化する自然の姿を通して、季節の移り変わりを感じ、自然の中で生きていることを実感することでしょう。

このような優れた景勝地をこれからも保全していくにはどうすればよいのでしょうか。私たちが気をつけるべきことについて考えてみましょう。





「来た時よりも美しく」を心がけよう

みんなが「来た時よりも美しく」を心がけて行動すれば、自然がごみで汚されることもありません。まずは「持ってきたものは持ち帰るもの」という習慣をつけることから始めましょう。特にプラスチックなどのごみはもともと自然界に存在しないものですから、微生物などにより分解できないため自然に戻ることはできません。

地域での清掃活動や環境美化のボランティア活動などに参加し、実際にごみを拾ってみるとごみ問題をより深く考えるきっかけになります。

自然にやさしい行動をしよう

最近のレクリエーションブームの影響のせいか、草原に四輪駆動車を不法に乗入れ、そのため草原が傷み、地肌が出ているところもあり、地元の人々が迷惑をしているという新聞記事が掲載されました。（平成9年7月30日 大分合同新聞朝刊）

耶馬溪地域でも四輪駆動車を山や野ばかりでなく川や溪谷に乗入れ、徒歩による自然探勝を楽しむ人の安全を脅かされるばかりか、^{わづら}横により地形が破壊されているとの報告もあります。

こうした行為は自然に悪い影響を与える行動であり、少し考えれば物事の善し悪しはすぐに分かるはずです。自分で考えて自然に悪い影響を与えないような行動、－自然にやさしい行動－をしましょう。

みんなで自然にやさしい行動とはどうあるべきか話し合ってみましょう。きっとたくさんの考えがでてくることでしょう。

自然に親しもう

自然に親しむには、まず自然のことに興味を持つことが大切です。このガイドブックは、深耶馬溪地域について、「地形・地質」「気候」「水質」「植物」「動物」など各分野の先生がわかりやすく説明しています。皆さんも興味のある分野について研究し、自然の不思議さとおもしろさを見つけながら、自然に親しんでください。

例えば

- ・雨水はどのように循環しているのか調査する。
- ・天気、気温を調べて、身近な環境の変化を研究する。
- ・春夏秋冬の代表的な植物を調査する。身近な場所から調査を始めてみる。
- ・昆虫の標本づくりをする。
- ・^{たんちようかい}探鳥会に参加し、鳥を研究する。
- ・自然観察会に参加し、四季の自然環境や生物について研究する。

調査や研究に必要なものはなるべく最小限しか採らないように努め、自分勝手な行動をして自然環境に悪い影響を与えるようなことをしないようにしましょう。